

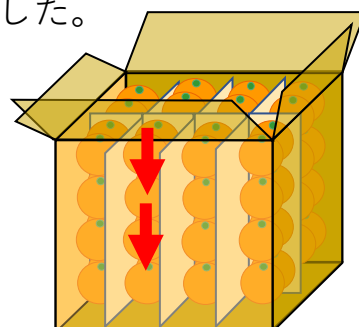
# ミカンの腐敗を軽減する縦型整列梱包容器

## 成果の特徴

- 流通中のミカンの腐敗発生を軽減する梱包容器（段ボール）を開発しました。
- 段ボール容器に縦方向に仕切りを設け、ミカンに掛かる荷重の方向を上下方向のみに制限するため、ミカン果実の損傷を抑え腐敗を軽減します。

## 成果の内容

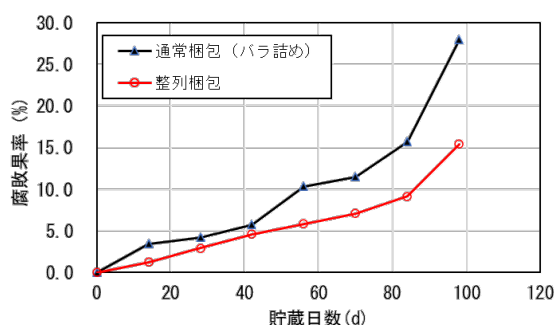
- 海外（シンガポール）に輸出する際に輸送中に約13%の減耗が発生している。
- 損傷を防ぎ減耗率を低減するため、縦方向に仕切を設置し荷重を上下方向のみに限定する縦型整列梱包容器を開発し、その性能を評価した。



振動や衝撃で生じる荷重は上下方向に制限される

### 通常梱包（バラ詰め）

### 縦型整列梱包



貯蔵試験での腐敗果率の変化

箱数	各試験区3箱
入数	バラ詰め容器 約87果
	縦型整列梱包 80果

2週間毎の調査時に腐敗した果実を隔離したため、腐敗やカビの伝搬は生じていない。

## 想定される用途・連携希望先

- ウンシュウミカンの海外輸出用（船便）での利用が想定されます。
- 輸出に興味の生産者団体や公設試等の普及機関との連携を希望します。

## 参考

本研究は生研支援センター「戦略的スマート農業技術等の開発・改良」の支援を受けて行ったものです。